

## 矢澤 昇治 教授 履歴・業績



## 矢澤昇治 教授 履歴・業績

### 【略 歴】

- 昭和23年2月 新潟県見附市に生まれる
- 昭和41年3月 新潟県立長岡高等学校卒業
- 昭和46年3月 金沢大学法文学部法律学科卒業
- 昭和50年3月 東北大学大学院法学研究科私法学専攻修士課程修了
- 昭和51年3月 東北大学法学部研究生退学
- 昭和53年8月 フランス国ストラスブール第三大学第三博士課程退学
- 昭和54年3月 東北大学大学院法律研究科私法学専攻博士後期課程単位取得退学
- 昭和48年4月 仙台法経専門学校非常勤講師（～昭和52年3月）
- 昭和54年4月 熊本大学法学部専任講師（～昭和56年3月）
- 昭和56年4月 熊本大学法学部助教授（～昭和61年3月）
- 昭和61年4月 専修大学法学部助教授（～昭和62年3月）
- 昭和61年6月 熊本大学法学部非常勤講師（～平成7年3月）
- 昭和63年4月 専修大学法学部教授（～平成26年3月）
- 平成4年12月 弁護士登録（第二東京弁護士会）
- 平成7年9月 平成7年度長期在外研究員（中華人民共和国 上海社会科学院大学）  
（～平成8年8月）
- 平成16年4月 今村記念法律事務所にて実務活動（～平成20年3月）
- 平成16年4月 専修大学大学院法務研究科教授（現在に至る）
- 平成20年4月 おおとり総合法律事務所にて実務活動中（現在に至る）
- 平成24年4月 専修大学大学院法務研究科教授国内研究員（～平成25年3月）
- 昭和61年4月から、熊本大学法学部、県立熊本大学、九州東海大学、九州国際（八幡）大学法学部、大東文化大学法学部、東海大学法科大学院、駿河台大学法科大学院、東洋大学法学研究科などで非常勤講師を歴任

### 【業 績】

#### 1 著書・共著

- 『裁判と上訴（下）』（小室直人・小山昇先生還暦記念）「外国判決の執行判決に対する不服申立」  
－有斐閣－1980年（共著）
- 『注解 民事訴訟法（7）』（斎藤秀雄編）第5編 430～434条、441～443条－第一法規出版－1981年  
（共著）
- 『法学入門』（佐久川・福里・水野編）（第二章，第一，二講）－八千代出版－1988年（共著）
- 『国際私法（演習ノート）』－法学書院－1991年（共著）

- 『いま戦争と平和を考える』（石村・小沼・古川編）「司法摩擦の平和的処理－量的ルールと質的ルール－」－国際書院－1993年（共著）
- 『基本法コメンタール（国際私法）』（木棚・松岡編）（別冊法学セミナー）－日本評論社－1995年（共著）
- 『フランス国際民事訴訟法の研究』－創文社－1995年（単著）
- 『国際私法（演習ノート）[改訂版]』－法学書院－2001年（共著）
- 『大逆事件（一）』－専修大学出版局－2001年（共著）
- 『倒産法体系－倒産法と市民の保護』（河野・中島編著）「国際破産事件における市民債権者の保護」第2部第16章担当－弘文堂－2001年（共著）
- 『環境法の諸相－有害産業廃棄物問題を手がかりに－』（担当：第4章「有害廃棄物の越境移動とバーゼル条約」, 第5章「国際環境汚染に関する国際私法上の対応」）－専修大学出版局－2003年（共著）
- 『国際私法百選』（櫻田・道垣内編）担当：74. 遺言の検認－別冊ジュリスト（有斐閣）－2004年（共著）
- 『大逆事件（三）』－専修大学出版局－2006年（共著）
- 『国際取引法〔初版〕』（木棚照一編）第一部第2章「国際取引法の法源」, 第二部第3章「プラント輸出と国際的技術移転」担当－成文堂－2006年（共著）
- 『今村懲戒事件（一）』－専修大学出版局－2006年（共著）
- 『国際紛争』（全12巻）－＊知的財産に関する先端的映像教材－2007年（単著）
- 『冤罪はいつまで続くのか』－花伝社－2009年（編著）
- 『今村懲戒事件（三）』－専修大学出版局－2008年（共著）
- 『殺人罪に問われた医師』－現代人文社－2010年（単著）
- 『袴田巖は無実だ』－現代人文社－2010年（編著）
- 『国際取引法〔第2版補訂版〕』（木棚照一編）第一部第2章「国際取引法の法源」, 第二部第3章「プラント輸出と国際的技術移転」－2011年（共著）
- 『真相究明書－九千万人の中の孤独－』－花伝社－2011年（共著）
- 『大逆事件と今村力三郎』－専修大学出版局－2012年（共著）
- 『再審と科学』－日本評論社－2014年（編著）
- 『「橘由之日記」の研究』－専修大学出版局－2014年（単著）

## 2 学術論文

- 「フランス国際私法における養子縁組の変遷」－東北大学大学院法学研究科 院生会 東北法学 創刊号－1976年
- 「国際私法における Public Policy について」－東北大学大学院法学研究科 院生会 東北法学2・3合併号－1979年
- 「フランス国際民事訴訟法上の実質審査主義の廃止について」－熊本法学30号－1981年
- 「涉外法律関係と裁判制度の初源的形態（1）～（5・完）」－熊本法学34～38号－1982年
- 「涉外離婚訴訟における国際裁判管轄について（1）」－熊本法学43号－1985年
- 「涉外離婚訴訟における国際裁判管轄について（2・完）」－熊本法学44号－1985年
- 「フランス法に見る国際間接裁判管轄権」－民商法雑誌204号－1986年

- 「訴訟費用担保義務の批判的検討序説（一）－フランス法にみる同義務の生成と廃止－」『民事法の諸問題Ⅴ』－専修大学法学研究所紀要12号－1987年
- 「訴訟費用担保義務の批判的検討序説－フランス法にみる同義務の生成と廃止（二・完）」－専修法学論集47号－1988年
- 「家族制度にみるフランス革命」－専修大学人文科学年報20号－1989年
- 「涉外遺産分割事件における相続人・相続分の準拠法」－野田愛子・泉久雄編『遺産分割・遺言 二一五題』判例タイムズ688号－1989年
- 「フランスにおける国際民事裁判管轄権の生成と発展の一断面（一）」－『民事法の諸問題Ⅵ』専修大学法学研究所紀要16号－1991年
- 「フランスにおける国際民事裁判管轄権の生成と発展の一断面（二）」－『民事法の諸問題Ⅶ』専修大学法学研究所紀要17号－1992年
- 「理由不備の外国判決の承認と執行－1991年フランス破産院のPolypetrol会社事件を素材として」－法学 58巻6号（林屋禮二教授還暦記念号）－1994年
- 「フランスにおける国際民事裁判管轄権の生成と発展の一断面（三・完）」－専修法学論集58号－1994年
- 「有害廃棄物の国境を越える移動及びその処分から生ずる損害に関する責任及び賠償に関するバーゼル議定書」－専修法学論集79号－2000年
- 「バーゼル損害賠償責任議定書の採択後の動向－特に責任の財政上の制限に関する研究を中心として」－専修法学論集80号－2001年
- 「バーゼル条約の紛争解決メカニズムについて－附録 環境上健全な管理に関するバーゼル宣言－」－『民事法の諸問題Ⅹ』専修大学法学研究所紀要26号－2001年
- 「不法行為の準拠法に関するわが国の学説史－苦悩の末の提唱された解釈論の意味するもの－(1)」－専修法学論集84号－2002年
- 「不法行為の準拠法に関するわが国の学説史（2・完）－苦悩の末に提唱された解釈論の意味するもの－」－『民事法の諸問題Ⅺ』（専修大学法学研究所27号）－2002年
- 「神戸児童連続殺傷事件につき利害関係を有しない第三者のなした申立・請求事件に関する一考察」－『刑事法の諸問題Ⅵ』（専修大学法学研究所紀要28号）所収－2003年
- 「啄木と大逆事件」－専修大学今村研究室報44号－2005年
- 「この紋所が眼に入らぬか－裁判官は、過失があってもなぜ責任を免れるのか」－専修大学今村研究室報46号－2006年
- 「香りは著作物として保護されるか－嗅覚に係る創作物の著作物性に関するフランス控訴院の判例」－専修ロージャーナル 2号－2007年
- 「訴因の特定を巡る諸問題－ある殺人被告事件の起訴状をめぐって－」－専修ロージャーナル 5号－2010年
- 「ハンチュウ（Handschu）判決（一）」－専修法学論集109号－2010年
- 「ハンチュウ（Handschu）判決（二）」－専修法学論集110号－2010年
- 「ハンチュウ（Handschu）判決（三・完）」－専修法学論集111号－2011年
- 「私の親は誰ですか（1）」－専修法学論集111号－2011年
- 「私の親は誰ですか（2・完）」－専修法学論集112号－2011年
- 「ビデオ撮影に関する法文を違憲とするフランス憲法院の二つの判例」－専修ロージャーナル 6

号-2011年

「三鷹事件と普天間基地問題の結線」-専修大学今村法律研究室報55号-2011年

「共同被告人の供述を唯一の証拠として共謀成立の事実を認定することは適法であるか」-専修ロージャーナル7号-2012年

「弁護士責任保険請求事件」-専修法学論集114号-2012年

「韓国における紛争解決制度 特に、ADR」-専修ロージャーナル10号-2014年

「韓国著作権委員会」-専修法学論集123号-2015年

「ハンセン病患者の檻、隔離法廷、冤罪藤本事件」-専修大学今村研究室報65号-2016年

### 3 判例評釈

「旧台湾総督府令を適用した虚偽の嫡出子出生届の認知届としての効力」-ジュリスト886号-1987年

「涉外判例研究<第352回>」「控訴審係属後の改正・施行された中華人民共和国離婚法に基づく離婚請求」-ジュリスト914号-1988年

「国際裁判管轄決定における民法21条と特段の事情」-ジュリスト998号-1991年

「遺言の成立」(東京地裁平成3・12・20判決)-別冊ジュリスト『涉外判例百選』-1995年

「外国離婚判決の承認・執行」(大阪高裁平成4・2・25判決)-別冊ジュリスト『涉外判例百選』-1995年

「民法200条1号ないし4号の適用例-連合王国高等法院判決の執行判決請求」(東京地裁平成6・3・31判決)-私法判例リマークス1995年(上)-1995年

「旧法例下において中国人夫婦の嫡出子として出生届のなされた子について、中華人民共和国の養子法により、いわゆる、「藁の上からの養子縁組」を認めた判例」(神戸地裁平成10・3・30判決)-判例リマークス2000年(上)-2000年

「ハロー・キティ事件」-専修ロージャーナル1号-2006年

『国際私法百選』(櫻田・道垣内編)担当:遺言の検認-別冊ジュリスト判例百選[新法対応版]-2007年

「1台1証券の原則」-これって「闇カルテル」?」-Westlaw Japanコラム57号-2009年

「裁判員の意義を重視して失うものは何か」-Westlaw Japanコラム68号-2009年

「稀少難病(RSD)患者の救済に向けて」-Westlaw Japanコラム79号-2009年

「『国際的な子の奪取の民事面に関する条約』の批准なるか」-Westlaw Japanコラム93号-2010年

「「いじめ」は、いじめられた児童生徒の立場で認定されるべきでないか?」-Westlaw Japanコラム117号-2010年

「知財権に関する二題-Miffyと無断電子化-」-Westlaw Japanコラム133号-2010年

「嘔吐した物を誤嚥して窒息死したことに基づく保険金請求事件-嘔吐物誤嚥は「外来の事故」に該当するか-」-Westlaw Japanコラム5号-2013年

「科学的証拠の無視と自白偏重-名張毒ブドウ酒事件第7次再審請求最高裁特別抗告決定-」-Westlaw Japanコラム17号-2013年

「羊水検査結果の誤報告に起因するダウン症候群児の出生と死亡事件(函館地裁平成26年6月5日判決)」-Westlaw Japanコラム31号-2014年

- 「退職金に関する就業規則の不利益変更と同意の有無の判断手法－労働者は、如何に賃金と退職金を確保できるか－」－Westlaw Japanコラム72号－2016年
- 「ピカソ作品の著作権侵害に基づく損害賠償請求事件－カタログにおいて美術作品を複製したことが適法引用に当たるか」－Westlaw Japanコラム88号－2016年
- 「職場での旧姓名の使用について－人格権の－内容としての氏名権に関連して－（東京地裁平成28年10月11日判決氏名権侵害妨害排除等請求事件）」－Westlaw Japanコラム95号－2017年

#### 4 翻訳書・翻訳

- 「アイオワ州家族法典（1979年法）」－法務省民事局－1980年
- 「アイオワ州法典（家事関係）（一）1985年法」－専修法学論集45号－1987年
- 『カリフォルニア州家族法』（カリフォルニア州民法典抄訳）－国際書院－1989年（単著）
- ポール・ラガルド「国家主義と裁判管轄－衰退か、再生か－」専修法学論集55・56合併号－1992年
- 「バーゼル損害賠償責任議定書の採択後の動向－特に責任の財政上の制限に関する研究を中心として－」－専修大学法学論集81号－2001年
- 『ハワイ州家族法』（ハワイ州民法典抄訳）－国際書院－1992年（単著）
- 「UNCITRAL仲裁規則（2010年改訂版）」－専修ロージャーナル10号－2014年
- 「韓国国際仲裁規則－韓国国際商事仲裁協会」－専修法学論集123号－2015年
- 「不公正貿易行為調査及び産業被害救済に関する法律」－専修ロージャーナル11号－2015年
- 「韓国貿易委員会」－専修ロージャーナル11号－2015年
- 「UNCITRAL仲裁規則（2013年に採択された第1条4項付）」－専修大学法学論集126号－2016年
- 『これからの国際商取引法』（UNCITRAL-RECAP）「UNCITRAL国際商事仲裁モデル法」－2016年（共著）

#### 5 その他

- 「4年次の学生に対する調査報告書」第2部 II－8, III－1－15－熊本大学教育委員会－1985年
- 「法学部教育と学生の意識（Ⅳ）教養課程との関係と学生の意識」－熊本大学法学部 第20回 国立大学法学部教育課程シンポジウム－1985年
- 「『氏名』考」－専修大学法学研究所所報3号－1987年
- 「90年度国際私法」－日本評論社－1989年
- 「91年度別冊法学セミナー」－日本評論社－1990年
- 「『法』の字義」－専修大学法学研究所所報16号－1997年
- 「文柳山法律事務所訪問記」－専修大学社会科学研究所月報457・458合併号－2001年
- 「中華人民共和国の法廷の徽章について」－専修大学法学研究所所報24号－2001年
- 《研究報告》「大韓民国における国際取引にかかる紛争解決制度の実態調査（1）」－専修法学論集86号－2002年
- 《研究報告》「大韓民国における国際取引にかかる紛争解決制度の実態調査（2・完）」－専修法学論集87号－2003年
- 啄木と大逆事件－専修大学今村法律研究室報44号－2005年
- 『国際紛争』（全12巻）「法科大学院の先端的教育教材開発プロジェクト」（文部科学省専門職大学院プロジェクト）、No.X Legal Culture, Legal Tradition, No.1 EUの組織と知的財産

権法, No.2 EUにおける知的財産権に関する紛争処理制度, No.3 消尽原則とEU商標権,  
No.4 職務発明と連邦巡回裁判所, No.5 知的財産に関する国際的枠組み, No.6 国際知財  
紛争(準拠法), No.7 国際知財紛争(国際裁判管轄権), No.8 国際知財紛争の解決手段  
(国際商事仲裁と調停, ADR:大韓民国を中心として), No.9 中華人民共和国の知的財産権,  
No.10 中華人民共和国の紛争処理機関と手続-2007年  
「ハンセン病患者の檻, 隔離法廷, 冤罪藤本事件」-専修大学今村研究室報67号-2017年

【付記】学会活動, 弁護士活動, 社会活動については, 省略した。